

「南米アンデス考古学、60年目の現場から」

**2017年4月22日 (土) 13:30 - 15:00****東京大学総合研究博物館 小石川分館**

東京都文京区白山3-7-1



ペルーでは考古学の黎明期から外国人研究者が重要な役割を果たしてきたという経緯があり、現在でも他国からの調査団が数多く受け入れられています。東京大学が調査団を組織してから60年になる現在では、若手を含む多くの日本人がペルー各地でそれぞれ調査団を率いる状況となりました。発掘調査のみならず、遺跡を探す広域踏査、先端的な技法を駆使した遺物分析など、現在進行形のさまざまな研究展開を紹介していただきます。

講師：鶴見 英成 先生 東京大学 総合研究博物館 助教（アンデス考古学、文化人類学）**定員：50名****参加費：無料**（アースウォッチのWebからお申し込みください。お席に余裕がある場合は当日受付も可能です。）**サイエンスボランティア募集中！**

アースウォッチ・ジャパンは、市民が自ら地球環境を守っていく社会づくりをめざして、環境に関する科学的な研究を支える野外調査の現場に、一般市民をサイエンスボランティアとして派遣しています。国内外の様々な調査活動に、あなたも参加してみませんか？詳しくはWebをご覧ください。 www.earthwatch.jp

お申し込み・お問い合わせは、メールまたはお電話で、下記までご連絡ください。**認定NPO法人アースウォッチ・ジャパン 事務局**〒113-8657 文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 フードサイエンス棟4階
TEL: 03-6686-0300 FAX: 03-6686-0477 info@earthwatch.jp <http://www.earthwatch.jp>